

時代

時代の流れに ついていられない

と言っていたけれど 年よりぐらゝだ

あけす 古賀マサオ 西条一人の

これ不故郷を思わざる

の歌が流れていった

い川歌だ

現代らしさが与い

矢よじゆん子の水色の雨

タカハシヨリよの銀色銀色 毛玉色といき

なごは 今の歌を感じ

曲 歌 詩 雨 今 時代の

たごよつている

江戸時代と明治のちが

大正ねまると 戦後の昭和

と見ると

時代の流はかほりある

今 「生きたい」として

今の人間で有りたいと思つて

残念な木が かにくささ が身づく

古い子どいくなる

それほそれていい

今の人で有りたいとじえだしていい

自分にこそねいていよ

今の人とりたい要素がいっぱいと

しどうのそみはあり

勉強で得るわあものでない

どう感じるかどう思ふかの感覚そのあり

かその姿その言動その考え方に

出てくる

中身が変うなればやはり昭和がでてくる

時代の流れをキャッチしたい

と思つてい

2023
7/5